



公共の責任で、 市民生活を豊かに

街路樹・公園樹を守り 緑ゆたかな大阪市に

長岡ゆりこ市議は、2月、3月の建設港湾委員会、街路樹の過剰伐採について質疑。

市民からも驚きの声

長岡市議は、地元・東淀川区区内でも、SNS上でも「街路樹が根こそぎ取られて、ショックを受けた」、「木を切る改革」、「なぜ切らないといけないのか」などの疑問や不信があり、この声に大阪市は応えるべきと求めました。

定です。危険箇所とは関係なく「間引き」が理由になっている木もあります。また、ほかの公園では、伐採した木の通路確保のための伐採もあり、乱暴な伐採計画になっています。大阪市側は、一本、一本の木に、撤去時期と理由を貼紙し、丁寧な周知をすることでしています。長岡市議は、市民が、計画の全体について情報が取得できるようにと提案。

住民参画での緑化計画を求める

かつて柴島浄水場の桜並木の伐採がもちあがったとき、市民の知恵を生かして残した歴史に触れ、「長い時間をかけて育つ樹木に関して、市として緑化を進める観点での計画をすすめてほしい」とのべ、安全対策のための必要な伐採について住民に丁寧に説明するとともに、市民参画で豊かな緑を作るビジョンを持とうと提案しました。



大阪市内では、「安全対策」を理由に19000本の木を切る計画があります。東淀川区の小松公園では、24本中8本の木が切られる予

【3月9日、委員会で質疑をする長岡ゆりこ市議】

公園・街灯は公共の責任で

3月9日の建設港湾委員会の質疑で長岡市議は、地域の町会が担っている防犯灯の維持・管理について質疑。東淀川区では、電球を付け替えようとした町会長さんが、ハシゴから落ちて腰の骨を折る大けがをして入院した事例を紹介。本来なら夜道の安全確保は、パブリックの責任として大阪市がやらなければならないことと指摘し、市内の防犯

灯の設置個所と、夜道の照度やあかるさの調査し、大阪市としても対策をと提案。

また、公園利用者からの聞き取りを紹介。公園愛護会が高齢化などにより機能されなくなっているところもあると実情を伝え、遊具の充実や清掃などの維持管理に市としての体制強化を要望。

公園探検隊

公園利用者にヒアリング

長岡市議は、質疑に先立ち、東淀川区内の12箇所の公園をまわり、利用者に聞き取り。「バスケットゴールがほしい」「手洗い場がほしい」「砂場が清潔か気になる」など、寄せられた声を質疑で取り上げました。



夢洲 カジノ誘致やめ、 ゴミの処分場としての延命化を

不当鑑定疑惑 市民財産を安く見積もっているのか

2月17日の建設港湾委員会では、長岡ゆりこ市議は、夢洲・カジノ予定地の土地鑑定額が、不当に安い見積りがされている疑惑に対して質疑。

長岡市議は、鑑定業者側は「IR事業は国内実績がないから盛り込めない」としているが、カジノは前例がないとしても、ホテルや大規模展示場の併設が予定されているにもかかわらず、反映されていないと指摘。価値の低い事業に多額の投資をしようとしているのか、カジノ業者を優遇し、公金・税金の市民負担が膨れ上がることが明白なカジノ計画は中止すべきと求めました。

夢洲土壌対策 ゴミ箱のゴミを移動させるようなもの

3月9日には、夢洲に、大阪市が788億円の公金で土壌対策をおこなおうとしている問題について質疑。本来、廃棄物の処分地として設計された夢洲から、わざわざ別の場所に汚染土を移動させることは、ごみ箱から別のごみ箱に移動させるようなもの。この様な対策費用を使うことはせずに、夢洲を処分場として大事に使うことを要望。



【2月17日、委員会で質疑をする長岡ゆりこ市議】

米艦寄港を認めるのか

大阪港は平和利用の徹底を

長岡ゆりこ議員は、2月17日の委員会で同月20～23日にアメリカ軍の艦船が大阪港に入港する問題を取り上げ質疑。大阪港の平和利用の徹底を求めました。

アメリカの強襲揚陸艦「USS アメリカ」が20～23日、大阪港へ入港する問題をめぐっては、「大阪港の平和利用に反する」「核の持ち込みについての確認は」とただしました。大阪市は「平和都市宣言」（1995年）とともに、非核三原則の国是を踏まえた「大阪港の平和利用に関する決議」（1994年）を全会一致で採択。長岡市議は、「大阪港は平和利用を貫き、市として非核証明書の提出を求めるべき」だとし、米軍艦船の入港

は容認できないと強く訴えました。



【大阪港に停泊するアメリカ軍の艦船】

地下水汚染・PFAS 住民に周知徹底へ

長岡ゆりこ市議は、毒性が指摘されている化学物質・PFASについて質疑。東京や沖縄など全国各地で問題となっています。環境省の2022年調査では、東淀川区内の地下水から全国で一番濃度が高い目標値の110倍のPFOAを検出。

長岡ゆりこ市議は、大阪市として調査し公表していることを評価しながら「自分から情報を取りに行くホームページだけでなく大阪市として積極的周知を」と要望。水道水については「暫定目標値のクリアだけでなく、完全除去をめざしてほしい」と述べました。

淀川左岸線2期工事

工法もずさん 即時中止を

2月17日の委員会で長岡ゆりこ議員は、淀川左岸線の2期工事について質疑。工法変更により工事費が1000億円以上上ブレしていることに触れ、元の計画自体がずさんだったのではと指摘。

さらに万博のための暫定利用の仮設道路に50億円も出すような無駄はきっぱり中止すべきと求めました。